



# 竹林

白河市立五箇中学校だより No.12

発行 令和2年6月19日  
発行責任者 校長 菅野 靖



## 教育目標

自ら学ぶ意欲をもち、創造性に富み、社会の変化に対応できる知性豊かな生徒の育成

## 目指す生徒像

主体的に学び、確かな学力を身につける生徒〔知〕  
広い視野をもち、思いやりのある生徒〔徳〕  
心身ともに健康で、生き生きと生活できる生徒〔体〕

## 全校朝自習、Tタイムなど授業以外でも頑張っています

五箇中学校の生徒一人ひとりの確かな学力を育成するために、教師がわかりやすい授業を推進し、生徒も一生懸命に授業に取り組んでいます。学校の1週間の授業は、6校時の日が4日間で、5校時の日が1日あるので、合計29時間あります。この29時間の授業は、教科の新しい学習内容を学ぶ時間として、また、道徳や学級活動、総合的な学習の時間として費やされます。なかなか、今までの復習や補充的な内容を確認したりする時間や新たな学びに挑戦したりする時間は授業の中には多くありません。

そこで、五箇中学校では、基礎学力を定着させたり、各種検定試験の合格率を向上させたりするために、『基礎学力向上プラン』を作成し、そのプランに従って、授業以外の学習を進めています。そのプランが下記に示したものです。

## 『基礎学力向上プラン』

### 1 全校朝自習の実施

- ・全校生で、始業前の時間を落ち着いた雰囲気でも過ごすために、計画的な朝自習を行う。
- ・NIE活動と読書を行い、文章を読む力を育成し、文章の読解力や表現力を高める。  
※ NIE (Newspaper in Education)…新聞を学校教育に活用し、興味や関心の幅を広げるもの。
- ・新聞記事を読み、感想を書く取り組みを、月に1回程度行う。

### 2 Tタイムの実施

- ・Tタイムの「T」はTry(挑戦)、Training(訓練・練習)、Teach(教授)を意味する。
- ・学力向上を目指し、毎週、月曜日と水曜日の放課後30分間の補充・発展学習を実施する。
- ・各種検定試験の合格率90%を目指して、練習問題や模擬試験に挑戦する。
- ・校内のコンテスト(計算力、スペリング)の合格率90%を目指して学習する。
- ・学力調査や実力テストに向けて学力強化週間を設定し、ふくしま活用力テストや定着確認シートを行う。

### 3 週末課題確認テストの実施

- ・毎週、金曜日に教科(国語、数学、英語、理科、社会のいずれか一科目)の課題プリントを配付する。
- ・次の週の火曜日に週末課題の定着を確認するテストを行う。
- ・確認テストの合格は20点満点で16点以上とし、不合格者に対しては補充指導を行う。

#### ○ 6月16日実施の週末課題確認テストの結果(数学:20点満点)

・1年生:19.8点

・2年生:18.5点

・3年生:18.4点



どの学年も、一人ひとりが基礎的な学力を確実に身につける努力をしています。五箇中生は、授業以外でもこのように頑張っております。さらなる学力の向上を期待しています。